

平成 22 年度研究発表会

平成 23 年 2 月 5 日(土)

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

「児童生徒の生涯につながる支援を探る」

－「8つの教育的支援の柱」に基づいた教育実践を通して－

講演

「全ての子どもの自立、社会参加を実現する教育支援」
－ キャリア教育を重視した支援 －

講師 上岡 一世 (愛媛大学教育学部教授)

公開授業

小学部 「茶色の小びん」～気持ちを合わせて演奏しよう～(音楽)

授業者：宮本万記子 西出雅美 濱地由佳 岩崎新太郎
場所：プレイルーム

中学部 「働く人の一日を知ろう」

授業者：谷 重男 岡谷恵子
場所：中1教室

「いろいろな仕事があることを知ろう」

授業者：中原隆彰 井上泰馬
場所：中2教室

「働く体験をしてみようー作業所での現場実習ー」

授業者：東平朋子 弥勒洋介
場所：中3教室

高等部 「未来予想図(職業(進路)) 総合産業コース3年

授業者：大久保義則 有田孝子
場所：総合産業コース3年教室

「ざ・座禅～新たな自分づくりへの挑戦～」(生活) 普通科1年

授業者：保科由美子 山本雅人
場所：普通科1年教室

「皿づくり」(作業学習) 普通科2～3年

授業者：手間一幾 下町秀之
場所：窯業室

「工芸品づくり」(作業学習) 普通科2～3年

授業者：宮崎美幸 黒田牙 檉畑紀子
場所：工芸室

「テーマトーク」(H.R) 総合産業コース1～2年

授業者：北岡大輔 西本一史
場所：総合産業コース2年教室

分科会

小学部 「小学部段階における支援内容を探る(2)ー自立心を育む取り組みを通してー」

小学部では児童が主体的・意欲的な活動を積み重ねることにより、自立心を育てていくことができると考えてきた。そこで、日々の教育活動から「主体的な活動」や「意欲」について拾いあげることにより、自立心を育むための支援や授業づくりに関して明らかになったことを報告する。

提案者 辻本 憲伸 (本校教諭)
研究協力者 小野 次朗 (和歌山大学教授)
司会者 西出 雅美 (本校教諭)
助言者 津村 孝幸 (県学校指導課特別支援班指導主事)

中学部 「中学部段階における『自ら社会に参加し、関わっていける力』の育成を目指してーキャリア教育の視点から中学部教育を検証するー」

「自ら社会に参加し、関わっていける力」を育てる中学部教育の更なる充実を目指して、中学部教育をキャリア教育の視点で確認しながら授業実践を展開した。その成果と課題について報告する。また、中学部段階に現れやすい対人関係の課題に対し、キャリア教育の中でも「人間関係形成能力」に着目した指導実践について事例を挙げ、その有効性についても報告する。

提案者 井上 泰馬 (本校教諭)
研究協力者 江田 裕介 (和歌山大学教授)
武田 鉄郎 (和歌山大学教授)
司会者 道上 里砂 (本校教諭)
助言者 上村 弘幸 (県学校指導課特別支援班指導主事)

高等部 「高等部段階で自立に向けてつきたい力を探るーよりよく生きていくことを目指した実践ー」

ICFの視点が社会に浸透しつつあり、障害者の自立観に変容が見受けられる。そのような時代背景の中、本校卒業生の動向を踏まえ、現在の教育活動を顧みること、高等部生徒にとっての「自立に向けてつきたい力」を探ってきた。また、つきたい力に迫る具体的な指導について実践研究を行った。これらの取り組みから示唆された成果と課題について報告する。

提案者 有田 孝子 (本校教諭)
研究協力者 山崎由可里 (和歌山大学教授)
古井 克憲 (和歌山大学講師)
司会者 下町 秀之 (本校教諭)
助言者 小山 武宏 (県学校指導課特別支援班指導主事)